



'86

ひかべ

No. 197号

10月号



—第13回 ひかべ幼稚園うんどう会—

昭和61年 第3回町議会 定例

- 収入役に橋本健蔵氏
- 教育委員に山科久幸氏、松崎勇氏、佐々木成克氏
- 固定資産評価審査委員会委員に古村敏男氏
- 企業誘致条例の制定

- 昭和六十年各会計の決算認定などを議決

昭和六十一年第二回町議会定例会は、九月二十五日に開会され、会期を二十九日までの五日間に決め、諸報告、町長の行政報告、一般質問のあと議案審議につづり、各会計補正予算、企業誘致条例等原案とあり可決しました。

続いて収入役に橋本健蔵氏を、教育委員に山科久幸氏、松崎勇氏、佐々木成克氏を、固定資産評価審査委員に古村敏男氏を選任することに同意しました。次いで六十年各会計の決算を認定し、更にはミンフ飼育事業特別委員長報告等があり、二十一件の案件を議決して閉会しました。

議案第一号

昭和六十一年度鹿部町水道事業会計補正予算専決処分報告承認について

九月三日、道々大沼公園鹿部線改良工事に伴う事業のため、収入一三三万四、支出一四五万四を追加専決処分したのでその報告をし、承認を受けました。

議案第二号

昭和六十一年度鹿部町一般会計補正予算について

一般会計予算の総額に歳入歳出それぞれ六、三三六万八千円を追加し、予算総額を一億一、二二八万三千円としました。歳出の主なものは、次のとおりです。

- 議会事務局用テープレコーダー購入費
- 土地基本査定図座標索引簿作成委託料
- 敬老年金
- リハビリ診療所通院バス委託料
- 集落水源林整備事業
- 鹿部本別両漁港負担金
- 観光看板移設工事
- 花火大会助成
- 小学校受電設備工事
- 中学校備品購入費

議案第三号

昭和六十一年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について

国保会計予算の総額に歳入歳出それぞれ五二万一千円を追加し、予算総額を四億一、九五五万一千円としました。

議案第四号

昭和六十一年度鹿部町水道事業会計補正予算について
水道会計収支予算の総額に九〇七万四円を追加しました。

議案第五号

鹿部町企業誘致条例の制定について

本町に企業を立地する者に対し助成し、もって町の経済発展と雇用機会の拡大を図ることを目的とした町条例を制定しました。

議案第六号

鹿部町収入役の選任について
収入役に次の方を選任することに同意しました。

住所 字宮浜三三四
氏名 橋本健蔵
昭和四年一月五日生

議案第七号

鹿部町教育委員会委員の任命について
教育委員に次の方を任命することに同意しました。

住所 字鹿部六六番地
氏名 佐々木成克
昭和四年十月二十七日生

議案第八号

鹿部町教育委員会委員の選任について
教育委員に次の方を任命することに同意しました。

住所 字鹿部一五四一五
氏名 山科久幸
大正七年八月五日生

議案第九号

鹿部町教育委員会委員の任命について
教育委員に次の方を任命することに同意しました。

住所 字鹿部一六四
氏名 松崎勇
昭和三年十月二十一日生

議案第十号

鹿部町固定資産評価審査委員会委員の選任について
固定資産評価審査委員会委員に次の方を選任することに同意しました。

住所 字宮浜四六
氏名 古村敏男
大正七年九月二〇日生

諮問第一号

公有水面の埋立について
北海道知事から諮問のあった公



諮問第三号

人権擁護委員の推せんについて
人権擁護委員に次の方を推せん
することを了承しました。

住所 字本別一四六―四
氏名 川村太一

大正十二年九月一三日生

認定第一号

昭和六十年鹿部町一般会計歳入
歳出決算認定について

昭和六十年鹿部町一般会計決
算を認定しました。

決算総額は

歳入 二億二、二二一萬

一、七七三萬

歳出 二億八七一萬

三、九一〇円です。

認定第二号

有水面の埋立について異議がない
こととしました。(宇鹿部三五番地
外地先——鹿部漁港施設用地)

昭和六十年鹿部町国民健康保険
事業勘定特別会計歳入歳出決算認
定について

昭和六十年鹿部町国民健康保
険事業勘定特別会計決算を認定し
ました。

決算総額は

歳入 三億八、四二六萬

八三四四

歳出 三億九、一五四萬

八、五三六円です。

(不足額は翌年度繰上充用)

認定第三号

昭和六十年鹿部町老人保健特別
会計歳入歳出決算認定について

昭和六十年鹿部町老人保健特
別会計決算を認定しました。

決算総額は

歳入 二億九九〇萬一五三円

六、一四九円です。

認定第四号

昭和六十年鹿部町ミンク飼育事
業特別会計歳入歳出決算認定につ
いて

昭和六十年鹿部町ミンク飼育
事業特別会計決算を認定しました。

決算総額は

歳入 九、七三五萬

一、九一七円

歳出 九、五八八萬

六、八三七円です。

認定第五号

昭和六十年鹿部町水道事業会計
歳入歳出決算認定について

昭和六十年鹿部町水道事業会
計決算を認定しました。

決算総額は

歳入 六、八八八萬

九、六六五円

歳出 六、一四一萬

七、七六五円です。

意見第一号

少額貯蓄非課税制度の存続に関す
る要望について

少額貯蓄非課税制度の存続につ
いて、次のとおり意見書を提出す
るものとしました。

少額貯蓄非課税制度の存続に関
する要望意見書

現在、政府税制調査会で少額貯
蓄非課税の在り方を含めた税制の
抜本的見直しの検討が行なわれて
おりますが、世論調査によれば、
国民の約七割が少額貯蓄非課税制
度の見直しに反対しており、少額
貯蓄非課税制度の見直しについて
は、国民の理解は到底得られない
のであります。

今後、人口の高令化が急速に進
展する中で、厳しい財政下で公的
年金に多くを期待できない状況に
あつては、ゆとりある老後生活に
資するため老後所得の安定を目的
とする金融商品の開発などを通じ
て自助努力による資産形成を促進
することが重要課題とされている
ように自助努力による貯蓄の重要
性はますます大きくなって参りま
す。

また、貯蓄は投資の源泉として
我が国の経済の発展に大きく寄与
していることは改めて言うまでも
ありません。

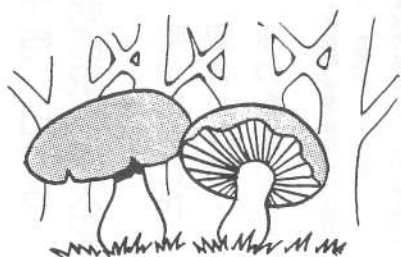
このように、少額貯蓄非課税制
度がこれまで果たしてきた役割、
更に今後果たすべき役割と考える
と同制度は絶対存続させていかな
ければならないと考えます。
政府におかれましては、本意見
書を踏まえた税制改正を進められ
るよう強く要望します。

以上、地方自治法第九十九条第二
項の規定により意見書を提出いた
します。

提出先 内閣総理大臣、大蔵大臣、
郵政大臣、国務大臣、自
治大臣、総務庁長官

議案提出者 西谷正昭
賛成者 毛利武蔵

渡部良次
高田春吉



■ミンク特別委員会報告 「ミンク飼育事業は 来年三月をもって廃止」

来年三月をもって廃止

九月二十五日に開会された昭和六十一年第三回定例町議会で、ミンク飼育事業の今後の在り方を検討していたミンク特別委員会（会長毛利武蔵町議）の最終報告がありました。

昭和三十四年二月、三三〇頭の飼育で始まったミンク飼育事業でしたが、来年三月をもって二十八年の歴史を残し、「廃止」との同委員会報告でした。

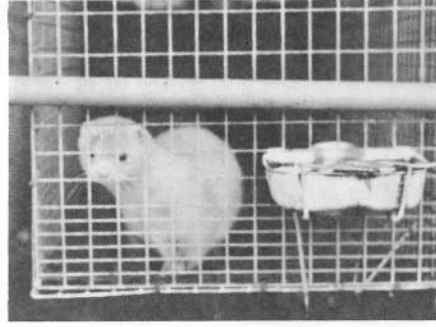
同委員会は、この報告をもって解散することになりました。

ミンク飼育事業特別委員会報告
昭和五十九年九月二十六日開催の第三回定例議会において設置されましたミンク飼育事業特別委員会は、現在迄十一回開催され、慎重に審議して参りました。

現状であります。

九月十九日開催の特別委員会に出された各国の状況並びに理事者担当課長の今後の見通し等、幅広い情報を収集し、適切な判断により検討した結果、永年続いたミンク飼育事業の歴史に終止符を打つことは誠に心苦しい事ではあります。すが、帰るところ今後におけるミンク会計の財源等を十分考慮し、昭和六十一年度限りで町営ミンク飼育事業を廃止するという結論に達しましたことを御報告申し上げ、本ミンク飼育事業特別委員会を解散することになりました。

以上を以って報告を終わります。



収入役に

橋本健蔵氏が 選任されました



昭和六十一年十月一日付をもって収入役に橋本健蔵氏が選任されました。

橋本氏は、昭和二十二年五月町職員となり、企画管財課長、総務課長を経てこの度収入役に選任されたものです。

- 略歴は、次のとおりです。
- 昭和4年1月5日生 57才 町職員
 - 昭和22年5月 税務課長
 - 昭和36年7月 畜産課長
 - 昭和43年7月 建設課長
 - 昭和46年6月 企画課長
 - 昭和48年5月 産業課長
 - 昭和52年4月 企画管財課長
 - 昭和56年4月 総務課長
 - 昭和59年4月 収入役
 - 昭和61年10月

教育長に

佐々木成克氏が 選任されました



昭和六十一年十月四日付をもって教育長に佐々木成克氏が選任されました。

佐々木氏は、昭和二十四年四月町職員となり民生課長、学校教育課長を経てこの度教育長に選任されたものです。

- 略歴は、次のとおりです。
- 昭和4年10月27日生 56才 町職員
 - 昭和24年4月 税務課長
 - 昭和43年7月 水道課長
 - 昭和49年5月 経済部長
 - 昭和49年10月 企画管財課長
 - 昭和52年4月 民生課長
 - 昭和56年4月 学校教育課長
 - 昭和59年4月 教育長
 - 昭和61年10月

十月一日から

鹿部駅が無人駅に

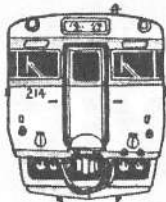
町が国鉄に代って、
駅舎の管理・きつ
ぶの販売をします。

国鉄の営業体制近代化計画により、鹿部駅が十一月一日から無人駅になることになりました。

町ではこれまでも無人化にしないため（無人化反対を）関係機関へ強く要望して参りましたが、全国的な方針のため了承せざるを得ない事となりました。

しかし町では、利用者の利便を考へ、駅舎の管理・きつぶ販売等を国鉄に代って行う事としました。今までと同様、乗車券、特急券、寝台券、指定券、定期券も販売いたしますのでご利用下さい。

尚、実際に駅舎を管理したり、きつぶを販売するのは、国鉄から推薦され町から委託された二人の方が行うこととなりますのでよろしくお願ひします。



昭和六十一年度鹿部町敬老会

おじいさん、おばあさん いつまでもお元気で

昭和六十一年度鹿部町敬老会が九月十五日の「敬老の日」に中央公民館で午後一時から行われました。

敬老会へは、今年中に七〇才以上になる方三三五人が招待されましたが、当日は、男五〇人、女六一人、計一一一人が出席されました。リハビリからは四十六人の該

当者を代表して四名が出席され、楽しい一時をすごしました。

敬老会は、長寿祝品、米寿祝品知事祝品が贈呈され、次いで川村町長が、「人生正に八十年の時代に入りました。もともとと長生きして町の発展にお力添えをお願いすると共に、町の発展を見守って下さい」と挨拶しました。続い

て佐藤町議会議長の祝辞があり、祝宴に入りました。

テーブルの上には、ビール、酒、ジュース等の飲み物や折詰が並べられ、更には鹿部婦人会（会長 境井美津子さん）の有志の方々がそうめんをご用意し、おじいさんおばあさん方にサービスしました。ステージでは、民謡愛好会の民謡や藤間会の踊り、カラオケ愛好会の唄が行われ、おじいさん、おばあさん方は大喜びでした。

また、宮浜の老人クラブの皆さんが、結婚式をテーマに仮装を行って拍手かっさいを浴びていました。

おじいさん、おばあさん、来年も元気で敬老会に出席して下さい。

◎長寿祝品を受けられた方(敬称略)

- 山内 福松 九六才
- 松本 みな 九五才
- 山内 りつ 九二才
- 富谷 タキ 九一才
- 飯田 常太郎 九〇才
- 沢川 キサ 九〇才
- 大黒 すゑ 八九才

◎米寿祝品を受けられた方(敬称略)

- 鈴木 専一 八七才
- 松川 タキ 八七才
- 大槌 勝蔵 八七才
- 吉田 清野 八六才

◎知事祝品を受けられた方(敬称略)

- 松本 夕子 八八才
- 佐藤 カツ 八八才
- 清信 ひなじ 八八才
- 中野 三吉 八八才
- 小笠原 トワ 八八才



リハビリからは4人が出席



宮浜老ク 仮装 テーマは「結婚」



楽しい語らい



三上理事長あいさつ



川村町長のあいさつ



10年勤続職員の表彰



樽酒を鏡開き

渡島リハビリテーションセンター 開設十周年を祝う

渡島リハビリテーションセンターの開設十周年記念式典が、十月一日、同センター体育館で町内外から多数の関係者を招き盛大に行われました。

同センターは、昭和五十一年十月一日に開所し、今年で十年を迎えたもので、その間には、特別養護老人ホーム、湯の沢会館、CATV、体育館等の施設整備や環境整備を行って入所者が楽しい施設生活を送れるよう努めてきたものです。

式典は、午前十一時三十分から

行われ、三上理事長の式辞で始まり、次いで山崎常務理事が福祉の里完成経過報告を行ない、続いて十年勤続者の表彰が行われました。

来賓祝辞では、道民生部長が、「最近ではこの種の施設もふえてきたが、開設当時は全道でも三ヶ所しかなかった。最近では、福祉をめぐる情勢が早い速度で変化しており、色々なニーズが増えている。これからの福祉は、行政だけでなく広く民活、住民の連けいが大切で、このような時に渡島リハビリが十周年を迎えた事は大変意義深

い」と祝辞を述べられました。

次いで、奥野一雄衆議院議員が「リハビリの環境をみて、施設内だけでなく地域ぐるみで福祉が行われており、これが真の福祉の姿だと思っている。道の福祉施策の前進をもたすようこれからも期待する。」と祝辞を述べられました。

続いて渡島町村会を代表して大野知内町長が、「施設の充実に驚かされる。老令化社会が進んでいる中でこの様な施設が充実されるという事は、大変意義深いものである。」と祝辞を述べられました。

式典終了後、祝賀会が行われました。

感無量である。これからも益々施設の充実と福祉の推進にまい進する決意である」と挨拶しました。その後、リハビリ職員がタル酒をみこしと同じようにかつぎ出し、三上理事長、寺山渡島支庁長が鏡開きを行ない、佐藤町議会議長の音頭で祝杯しました。

この模様は、出席できない多数の入所者のため、同センターご自慢の施設内有线テレビで放映され、入所者全員がこの式典のよるこびを分かいました。

腎臓移植を待つ人に愛の登録を



腎臓疾患で、人工透析をしなが
ら生活している人は道内で 2,500
人いるといわれています。そのう
ち約 1,000人の人は腎臓移植を希
望していますが、腎臓提供の登録
をされている方がまだ少ない状
況です。1人の人間の2個の腎臓に

腎バンク

より、2人の患者が救われます。
死後の腎臓提供登録にご協力をお
願いします。

▷問合せ 北海道腎臓バンク(札幌市中央区北1条西7丁目 おあわだビル)へ

リハビリ
10周年記念
体育祭

楽しい秋の一日

入所者と職員の
親睦を深める



選手宣誓

渡島リハビリテーションセンター
開設十周年体育祭が、九月一九
日に同センターで行われました。
この体育祭は、毎年行われてい
るものですが、今年は開設十周年
という事もあって盛大に行われま
した。
午前十時に競技開始。まず山崎
大会長（施設長）が、「福祉会は
これまでも入所者の方が一般社会
で暮らすのと何ら変らない場とし
て生きがいのある場づくりを進め
てきた。今年で十年という大きな
節目であるが、これからも入所者

の方が生きがいのある生活が送れ
るようお手伝いして参りたい。今
日一日を楽しく、ゆかいにすこし
て戴ければ運動会の目的は達成さ
れる」と挨拶しました。
次いで川村町長が、「体が不自
由でも健常者に負けないという姿
勢を示して頑張って下さい」と祝
辞を述べました。
競技は、車イスを使ったり、介
護の人たちを加えた楽しい種目ば
かりで、応援席からは大きな声援
が贈られていました。
また、この体育祭には老人クラ



パンくい競争

アドバルーン

ブから二〇人のお年寄りと、婦人
会から十二人のご婦人、更には、
しかべ幼稚園からかわい園児も
参加して行われ、一九八一年国際
身体障害者年を記念して考案され
た車イスダンスも行われました。
車イスに乗った方と補助の方二名
の計三人が一組となって踊る楽し
いフォークダンスで、皆さん楽し
そうに踊っていました。
あいにくの天気で、時折小雨が
降る空模様でしたが、入所者の皆
さん方は楽しい一日を過ごした体
育祭でした。



車イスの運転はむずかしい



力の入ったつな引



デットヒート



仮装



楽しい車イスダンス



ゴールイン

「伝統の鹿部中をめざして」

PTA

励まし運動を展開 クリーン作戦を実施

鹿部中学校の荒廃が、昨年から度々町内で問題となっていました。全町を挙げて正常化に取り組む気運が高まっています。

PTA（会長 高田弘之氏）では、これまでも学校側と連携をとりながら種々解決に努めてきましたが、この度「励まし運動」を九月十六日から一ヶ月間行なっています。

これは、PTAの発案によるもので、授業態勢の強化と子供ら



さを再認識してもらうため、父母が毎日交替で学校に出向き、生徒を励ますことで健全育成をしようというものです。

初日の十六日には励まし運動までの経緯や説明をするため全校集会が開催されました。

まず斉藤校長先生から①励まし運動の趣旨の説明と、②いじめの存在と人間の生き方についての話があり、鹿部の将来の担い手としての自覚を促しました。

次に高田PTA会長からの中学生らしい生活や学習が習慣化されることを全ての父母が願っている



こと、②励まし運動は父母の発想であること等の話があり、生徒たちを激励しました。

最後に桜田教育長が、①生徒は学習する権利があり、父母は子供を勉強させる責任があること。②中学校の教育が円滑に進められるように多額の町民の税金が使われていること、③中学校の生活を乱す不心得者がいれば、教育委員会

が断固とした措置をとること等を話し、全校集会を終わりました。

また、同日午後一時からは父母六十四人が参加して全校生徒、先生と共同作業による校内の草刈り、校舎の清掃が行われ、約一時間半後にはきれいに整備がなつてみちがえるようにきれいになりました。

励まし運動は、スタートから沢山の父母が参加して行われ、第一週（十六日―二十日）は、一―七



人の父母が参加されました。「思ったより静かだ」とか「授業中に教室から出ている生徒が何人かいますね」など反応はさまざまですが、学校の現状を実際に見て非常に参考になったようです。

渡島管内の他の町村で「あいさつ運動」や「他人の子どもをほめる運動・しかる運動」等を実践して健全育成に効果を上げています例もあり、大人が声をかけ、励ましてやることは子ども健全育成にとって非常に効果があります。

伝統ある鹿部中にするには生徒はもち論のこと、先生、父母、地域の三者が連携を深めて対策を構じなければ立ち直ることができません。この励まし運動を町ぐるみ運動へ発展させ、町内の子ども達が健全に育つよう励ましてやることが地域社会の責務ではないでしょうか。



「励まし運動」を 全町的な運動に

町内の青少年を健全育成するため「励まし運動」を全町的な運動に展開しましょう。

こんな指導・励ましを
◎家庭では
◎早寝、早起き、朝食は必ずとらせましょう。
◎遅刻をなくするため、八時十分には学校に入るように家から出しましょう。

◎正しい服装、髪型であるかどうかの気くばりをしましょう。

「励まし運動情報」も発行



鹿部ライオンズクラブ

「環境衛生に役立てて下さい」
鹿部中にゴミ籠を贈る



十月三日、鹿部ライオンズクラブ（会長 根本五郎男氏、会員三十人）が、「環境衛生に役立てて下さい」とゴミ籠八ヶを鹿部中学校に寄贈しました。

同クラブは、「奉仕」をモットーに三年前につくられたもので、設立後これまでも青少年健全育成塔建設助成、小学校環境整備助成、リハビリテーションセンターへの寄付等を行ってきました。

今回は、「きれいな町づくり」を目指して中学生に道徳心・衛生思想を育成してもらおうという事でゴミ籠を寄贈することとしました。

当日は、午後二時から根本会長と三人の役員の方が中学校を訪れ、「大事に使って下さい」と生徒の代表者に手渡しました。



豊君が、「大切に使用します。本当にありがとうございます」とお礼を云って受け取りました。

斉藤校長先生は、「環境を整備して子供の心を育てる為に有効に使わせて戴きます。また、このように中学生に対する地元の期待が大きいという事を子供達に教えた。早速生徒会で活用方法を話しあつて有効に活用させて戴きます」とお礼を述べていました。

「きれいな心は、きれいな町づくりから」中学生に限らず、私たち大人もこのことを見習いたいと思います。

クラブプーズ監督 児玉 進さん
管内スポーツ少年団育成成功賞を受賞



この度、児玉進さん（字鹿部）が、渡島管内スポーツ少年団育成功労者表彰を受賞しました。

児玉さんは、昭和四十八年体育指導委員に委嘱以来、幅広く各階層にスポーツ指導、団体の育成に努力され、特に少年野球教室の開設化を図り、四十九年には野球スポ少「鹿部クラブプーズ」の結成にご尽力されました。

結成と同時にクラブプーズの監督に就任、渡島地区大会で優勝、準優勝を数回、全道大会には三回出場し、昭和五十九年には第三位に導くなど輝かしい成績をもたら



身の丈二メートル
山オヤジを捕る

入山する時はクマに注意

一、山に入る場合には、役場や駐在所等で事前に情報を聞き、クマが出没している場合には入山を中止すること。

二、単独で山に入るとは危険なので集団で行動すること。

三、鈴や笛などを持ち、川沿いや見通しの悪い場所などでは、笛などを吹くこと。

四、残飯や空き缶等はヒグマのエサとなり易いので、必ず持ち帰ること。

五、早朝、夕暮れ、降雨の時は、ヒグマが活発に活動するので、入山は避けること。

そして万一ヒグマの姿や足跡を発見した時は、直ちに引き返し役場産業課や警察に知らせてください。

し、現在も監督として鹿部クラブプーズを指導されており、この功績が認められたものです。

児玉さんは、「ここまでやれたのも家族、同僚、仲間の皆さんのバックアップがあったからです。これからも体の続く限り頑張ります。」と話していました。

児玉さん 本当におめでとうございました。

九月十三日、鹿部猟友会（会長 松本秀康氏、会員 一〇人）が、補獲用に仕かけたオリに六、七才のオスのクマが入りました。

このクマは、身長約二メートル、体重一八〇キロもあり、道南ファームの牧場の馬を襲いに来たところを捕えられたものです。

今年は、夏の異常気象でクマのエサとなる山菜等が不作なため、エサを求めて人里近くまでクマが降りているものです。

これから山菜を求めて入山する方は次の事を充分守って下さい。

第一回栽培センター場長杯野球大会 大岩チームが優勝

第一回栽培センター場長杯争奪

野球大会が八月三十、三十一日、町体育協会長杯争奪野球大会が九月二十七、二十八日にそれぞれ山村広場グラウンドで行われ、大岩チーム、栽培センターチームが優勝しました。

特に体育協会長杯争奪野球大会は、「グラウンド閉い」ということもあって白熱した一点を争うゲームが展開されました。

この大会で昭和六十一年度の予定大会は全て終了しましたが、来年度も八つの大会を予定しております。



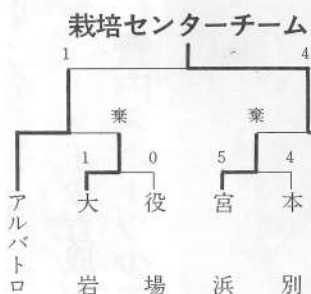
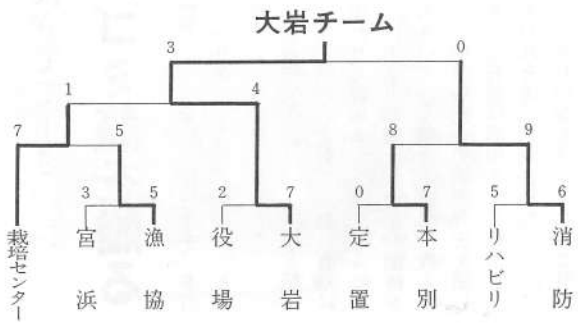
すので沢山の応援をお願いします。

また、選手の方は普段から健康に充分留意され、練習をして良い試合をお願いします。

《大会結果》

◎第一回栽培センター場長杯争奪野球大会

- 優勝 大岩チーム
- 準優勝 消防チーム
- 最優秀選手賞 柳沢 松根(大)
- 優秀選手賞 金沢 一男(刈)



- ◎町体育協会長杯争奪野球大会
- 優勝 栽培センターチーム
 - 準優勝 アルバトロ
 - 最優秀選手賞 三浦 宏紀(職)
 - 殊勲賞 大村 昭一(職)
 - 優秀選手賞 保科 雅彦(ア)
 - 敢闘賞 佐々木 孝弘(ア)

詳細についてお聞きになりたい方は、教育委員会へお問い合わせ下さい。(七七一三二二四)

ウィンターシーズンは室内スポーツで体をきたえましょう。

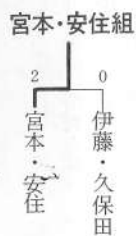
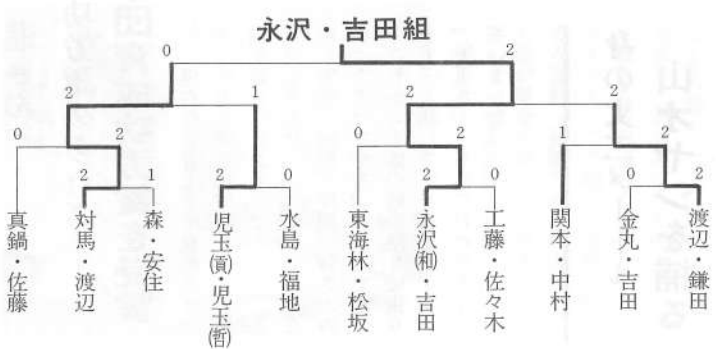
体育協会では、これからのウィンターシーズンに沢山の室内スポーツ教室、大会を計画していますので多数のみなさんご参加をお待ちしています。

◆町民バドミントン大会

男子—永沢・吉田組
女子—伊藤・久保田組
が制覇

九月十六日、鹿部小学校体育館において第一回町バドミントン協会・体育協会共催町民バドミントン大会が行われました。

大会には十三チーム、二十六人が参加し、熱戦の末、男子の部では永沢、吉田組が、女子の部では伊藤、久保田組が優勝しました。



二月には体育協会主催によるバドミントン大会を計画していますので、多数の方が参加されるようお願いいたします。

尚、毎週火曜日、午後七時から青少年会館においてバドミントンサークル及び一般町民のバドミントン練習を行っております。どうぞお気軽にご参加下さい。沢山のみなさんご参加をお待ちしています。(教委 社会教育課)

町ゲートボールクラブ秋季大会

宮浜Aチームが優勝

—老人パワー、四時間に及ぶ熱闘—

鹿部町ゲートボールクラブ秋季大会が、九月五日に本別ゲートボール場（本別生活改善センター裏）で行われました。

これは、町ゲートボールクラブ（会長 大堀良一氏、会員五五名）が主催して行われたもので、午後一時三十分から四時間にもわたり八チームが参加して今回新たに贈呈された町長杯を争いました。

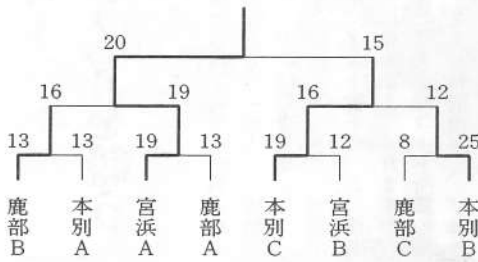
熱戦の結果、宮浜Aチームが並ぶ強敵を撃破して見事優勝し、春の大会の雪辱を果たしました。

グラウンドでは、勝負の中にも各チーム選手間の親睦が図られ、和気相々のうちに終わったゲートボ-



優勝の宮浜Aチーム

宮浜Aチーム



準優勝

- 中根 彰子
- 高橋 正勝
- 野口 岩藏

優勝

- 宮浜Aチーム
- 小山 忠一
- 中根 金太郎

〔結果〕

同クラブでは、これからも毎年春、秋二つの大会を予定しており、また、同クラブに加入希望のある方は随時受け付けいたしますので役員の方に申し込み下さい。



三味線滝に 公衆トイレを設置

—きれいに
大切に使いましょう—

この度、三味線滝の国道脇に公衆トイレをつくりました。これは、最近町を訪れる観光客がふえ、三味線滝にも沢山の人が見物に来る為に約一〇〇万円をかけてつくったもので、昨年、間欠泉駐車場に公衆トイレを設置したのに続いて町内では二ヶ所目となりました。

ご利用する時は、きれいに使うことを心がけ、大切に使うようにしましょう。

§ 第七回町民演芸の夕べ §

十五人の出場者がノドを競う

昭和六十一年度町民演芸の夕べが、九月六日に中央公民館において行われました。

この「町民演芸の夕べ」は、町内会連合会（会長 佐々木克三郎氏）が主催し、夏のコンブ採り時期の恒例行事として毎年行われているもので、今年で第七回となり、すっかり夏のイベントとして定着しているものです。

今年の出場者は、各町内会から選り優ぐられた十五人で、カラオケをバックに自慢ののどを競いあ

いました。

客席からは、自分の所属の町内会の人が出ると一際大きい声援が贈られ、中には花束も贈られました。

毎年、ゲスト歌手が、この演芸の夕べに花を添えてくれますが、今年にはビクターレコード所属の早川悠子さんが特別出演し、プロの唄で観客を魅了しました。

佐々木会長をはじめ各審査員は、甲乙つけがたい見事な唄に頭を悩ましていましたが、厳正な審査の

結果、次の方が本年の演芸大賞を受賞しました。

演芸大賞受賞者（敬称略）

米本 行春

高田 昭子

古城 洋子

出雲 せい子

和田 泰治

「日本海」

「浮草情話」

「男 船」

「演歌道」

「津軽じょんがら流れ唄」

秋まつり行われる

— 本別稻荷神社例大祭 —

本別稻荷神社大祭が、九月十九日から二十一日までの三日間行われました。

十九日は宵宮で、本別稻荷神社では、カラオケ大会が催されました。二十日は本祭で、行列、みこし、踊りやま等沢山の行事があり、稔りの秋にふさわしい本別神社のおまつりでした。



雇用保険不正受給
防止啓発月間

失業給付金は万一の場合の
みんなの「財産」

「失業したときに、次の就職先が見つかるまでの生活費をどうしよう」「蓄えが減る一方だ」
——失業中の労働者が、次の職場が見つかるまでの求職活動中、生活費が入らないことは死活問題です。

雇用保険では、このような失業中の労働者が、その期間の生活費を心配しないで求職活動に専念できるようにするために、失業給付金を支払っています。
この失業給付の費用は、労働者や雇用主の方が納めた保険料と、国民の皆さんが納めた税金によって賄われているのです。

後を断たない
不正受給者

ところが一部の悪質な受給者による、失業給付の不正行為が後を断ちません。個人や会社ぐるみで、働いている事実を隠したまま支給を受けているのです。これはもちろん法律を犯していますし、本当に失業給付を必要

としている人にとっては迷惑な話です。

本来、受給の対象となる人は就職の意志があり、現在、仕事を探している失業中のの人だけに限られます。ですから、定年退職をして、今後仕事をする希望のない人や結婚して家事に専念し、仕事探しをしない人は支給を受けられません。

発覚した場合
処罰されます

不正な行為により受給したり受給しようとした場合には、処

罰されます。例えばアルバイトで就労していた事実が発覚した場合、就労していたことを申告しなかった失業の認定日から、支給停止となります。また不正受給した金額は、全額返還しなければなりません。

このほか不正行為の悪質さによっては、受け取った金額の二倍の金額を納めなければならぬということもあります。その場合、必ず期日までに納めなければ、延滞金が課せられ、それを怠ると財産が差し押さえられたり、詐欺罪で処罰されることもあり

十一月は「雇用保険不正受給防止啓発月間」です。いざというときに役立つ失業給付金。一人一人が正しく使うよう心がけてください。



相槌を打つ

相手の話調子を合わせることを「相槌を打つ」といいます。これは金属を槌で打ち鍛えて、いろいろな器具を作る「鍛冶」という職業から出た言葉です。鍛冶は「金打ち」から転じたもので、カナウチ↓カナチ↓カンジ↓カジと変化しました。

刀剣を鍛える刀鍛冶では師匠と弟子、農具や蹄鉄などの生活用具を作る鍛冶屋では親方と徒弟が、二人向き合って代わる代わる槌を打ち下ろします。相手の槌に調子を合わせるから「相槌を打つ」という言葉が生まれました。



専門職員は約四百人で、予算の大部分は国連加盟国などの任意拠出で賄われています。本部はジュネーブにあります。

国連難民高等弁務官

インドシナ難民をはじめ世界に発生する難民の国際的保護と難民問題の恒久的解決を促進するため、一九五一年一月、国連に設置された機関 (United Nations High Commissioner for Refugees・UNHCR)。UNHCRは、最高責任者個人のことを指しています。味で使われることが多いようです。

「しばしもやまずに槌打つ響き」で始まる「村の鍛冶屋」は、大正初年にできた小学唱歌で、その一節に「鑪の風さえ息をもつがず」という文句があります。鑪は火を起こすために風を吹き送る装置。旧暦十一月八日の鍛冶屋のお祭りは「鑪まつり」と呼ばれました。

鍛冶屋という職業が見られなくなり、小学唱歌も教科書から消えましたが「相槌を打つ」という言葉は、語源を知らなくても使われているようです。

● 第13回しかべ幼稚園運動会 みんな一生懸命ガンバリました。

第十三回しかべ幼稚園運動会が九月七日に同園グラウンドで行われました。

当日は、好天に恵まれ、朝八時三十分花火と共に競技が開始され、日ごろの練習の成果を十分に発揮し一生懸命走ったり、踊ったりして観客のお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんから沢山の拍手をうけていました。

プログラムも非常に楽しいもので、子どもたちも大張りきりで、特にお母さん方を行った親

子競技「がんばれ！かあさん」、「おかあさんは力もち」、また、お母さんといっしょに踊った親子ゆうぎ「赤鬼と青鬼のタンゴ」、「むかし、むかし」では一層張りきって行っていました。
お昼には、お母さん方が腕によりをかけてつくったごちそうを大きな口でいっぱい食べて、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんと楽しくすごした一日でした。



先生も走り出し



仲よく走ろうね



カンポックリを使っの競技



すごいジャンプ



私、一番よ



負けるなー



ヤッター



しっかりつかまって



たくさん入ったでしょう



楽しいお母さんとのダンス

お知らせ



**十月は
自動車税
滞納整理月間です。**

納入していない方は
すぐに納めましょう！
自動車税を納入していない方は、
直ちに納税して下さい。納税し
ない場合は、給料、財産を差押
えることがあります。納税でき
ない事情のある方は、渡島支庁
徴税課へ申し出て下さい。

。自動車を購入、譲渡、廃車又は
登録事項を変更したときは、そ
の都度、函館陸運支局に登録申
請をしなければなりません。
特に住所を変更した方は、必
ず渡島支庁税務部自動車税係へ
連絡して下さい。
渡島支庁 税務部 徴税課
☎〇一三八―五一一九一一

**最低賃金を
守りましょう**

道内の全ての事業場で働く労働
者に適用される北海道地方最低賃
金（地域包括最低賃金）が、次の
とおり改正されました。

- 一、最低賃金 日三、四三九円
- 時間給労働者
- 一時間 四三〇円
- 二、効発生年月日 十月一日

最低賃金には、精進動手当、
通勤手当、家族手当は算入
されません。
最低賃金額以上の賃金を支払わ
ないと最低賃金法違反となり、処
罰されることがあります。

北海道労働基準局
函館労働基準監督署



**住宅金融公庫の資金
をご利用の方々へ**

**返済期間内の
繰上返済をしましょう**

国の財政事情の厳しい折から、
これからマイホーム取得のために
「長期・低利・無抽せん」の公庫
資金を必要としている多数の方々
のご要望におこたえするには、資
金に余裕のできた方々が繰り上げ
てご返済いただいた資金を再度ご
融通することが不可欠となってい
きました。

余裕のできた方々の一人でも多
くのご理解、ご協力による繰上返
済をお願いいたします。
なお、繰上返済した元金につい
ては、今後利息が発生しませんの
で、その分お得です。

◎繰上返済の手続

。現在、返済金を払込み中の金融
機関に申し出て下さい。
。事務処理上、おそれ入りますが、
七日前に事前連絡をして下さい。
。手数料は無料です。
。全額の繰上返済に限らず、一部
の繰上返済もできます。

(住宅金融公庫)

**10月は、
「高令者雇用促進月間」
です。**

高令化社会へ急速に移行する中
で、高令者の雇用を促進するた
めには、事業主の深い理解と協力
が必要です。

国では、高令者を雇用した事業
主に対して、各種助成制度を設け
る等雇用の確保に努力しています。
また、この十月からは、「高年
令者雇用安定法」が施行され企業
の六十才定年が努力義務化されま
す。

なお、詳しいことは、函館公共
職業安定所（☎〇一三八―二六―
〇七三五）へお問い合わせ下さい。



**全国身障者スポーツ大
会スローガンを募集し
ています。**

第二十五回全国身体障害者スポ
ーツ大会が、昭和六十四年はまな
す国体にあわせて、札幌市で開催
されますが、次の要領でスローガ
ンを募集しています。

募集方法
官製はがき一枚につき一点
を書き、住所、氏名、年令、
職業（学生の時は、学校名、
学年）、電話連絡先を明記し
て下さい。

応募先（問い合わせ先）
〒060札幌市中央区北三、西六
北海道民生部福祉課
☎〇一―三三―四二―
(内線) 四〇五五

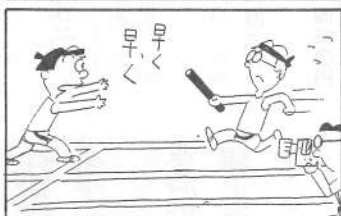
。締切り
十一月二十日(当日消印有効)
。募集内容
身体障害者の方々が、スポ
ーツを通じて明るく生きていく
ための自信と希望を簡潔に表
現したもの



さわやか

君

西村宗



歳時記

新米



十月は実りの秋——希望の新米シーズン到来といいたいところですが、実はもうとくに新米が食卓にのぼっていることをご存じですか。

以前は十月半ばあたりが本格的な稲の刈り入れの時期でした。ところが、最近収穫が早くなり、千葉県、宮崎県あたりでは八月二十日ごろから始まり、九月に入ると各地で刈り入れは本番となります。これは稲の開花期が九月の台風シーズンにあたらぬように栽培の時期を早めたためです。それと、兼業農家が多くな

り、本来六月ごろに行われていた田植えを、休日の多い四月から五月にかけてのゴールデン・ウィークにやってみる農家が増えたためではないかともいわれています。

ところで、新米という新しい入りの人をさげすむような言葉として使われますが、古米や古古米よりおいしい新米なのに、なぜそのような使われ方をするのでしょうか。これはどうやら「新前」がなまって新米となったためです。

「食生活改善普及月間」です。健康と深いかわりをもつ食生活——最近では、従来のお米を中心とする日本型食生活から、肉などを中心とする欧米型の食生活へと変わりつつあるようです。このところ増えはじめている心臓病は、このような食生活の変化も原因のひとつと考えられています。

食生活で心臓病を防ぐには、脂肪分の取りすぎに気をつけると同時に、食べすぎによる肥満や塩分の取りすぎに注意することが大切です。

また、日常の活動に合ったエネルギー(栄養)を野菜や肉、穀物などいろいろな食品からバランスよくとることを心がけてください。

| | |
|----|-------|
| 氏名 | 推野香子 |
| 父 | 和幸 |
| 住所 | 鹿本 |
| 氏名 | 下山慶二 |
| 父 | 健一 |
| 住所 | 鹿本 |
| 氏名 | 赤井真奈美 |
| 父 | 政春 |
| 住所 | 鹿本 |
| 氏名 | 仲谷真吾 |
| 父 | 英之 |
| 住所 | 鹿本 |
| 氏名 | 込山章吾 |
| 父 | 英之 |
| 住所 | 鹿本 |



おたんじょうおめでとう

| | |
|-----------|--------------|
| 世帯と人口 | |
| 61.9.30現在 | ()は前月比です。 |
| 世帯数 | 1,383世帯 (+1) |
| 男 | 2,566人 (+3) |
| 女 | 2,549人 (-1) |
| 計 | 5,115人 (+2) |

戸籍の窓

10月・11月の救急病院

| | | |
|--------|--------------------------|-----------|
| 10月26日 | 南茅部町国保病院 (南茅部町) | ☎ (2)3511 |
| 11月2日 | 砂原町国保病院 (砂原町) | ☎ (8)3131 |
| 11月3日 | 南茅部町国保病院 (南茅部町) | ☎ (2)3511 |
| 11月9日 | 渡島リハビリテーションセンター診療所 (鹿部町) | ☎ (7)3321 |
| 11月16日 | 砂原町国保病院 (砂原町) | ☎ (8)3131 |
| 11月23日 | 南茅部町国保病院 (南茅部町) | ☎ (2)3511 |
| 11月24日 | 砂原町国保病院 (砂原町) | ☎ (8)3131 |
| 11月30日 | 南茅部町国保病院 (南茅部町) | ☎ (2)3511 |

診療時間は午前9時～午後4時

発行/鹿部町 編集/企画管財課 製作/久保内印刷